

応募からの流れ

応募
(2~4月)

◆ 内閣府に参加申込書を提出
対象年齢 18歳~30歳(募集年度の4月1日時点)
※国際社会青年育成事業について、テーマに関係する分野に従事している者は40歳まで可

選考
(4~6月)

◆ 書類選考、面接選考等を実施→日本代表青年決定

事前研修
(7~9月)

◆ 日本代表青年としての心構え、事業の趣旨、内容、交流国等についての理解を深め、必要な諸準備を行う
※日本青年のみ参加
※時期は事業により異なります



交流プログラム
(9~2月)

◆ 外国青年と交流
※時期は事業により異なります

事後研修

◆ 事業のまとめ、事業に参加して得た学びを生かした今後の活動計画について考える
※日本青年のみ参加

報告会

◆ 事業で得た学びを次世代に向けて発信する



事業参加後の活動

◆ 内閣府青年国際交流事業の参加青年には、日本を代表して事業に参加した者として、各々の属する職域や地域に事業参加によって得たものを還元する(「事後活動」)とともに、継続的に自己研鑽に励み、各分野において国際社会や地域社会をけん引するグローバルリーダーに成長することを期待しています。内閣府青年国際交流事業は歴史が長いので、日本青年国際交流機構(IYEO)(全国組織の他、全国47都道府県別組織あり)を中心とした世界的なネットワーク、同窓会組織による事後活動の機会が充実しています。IYEOの活動内容の詳細は、同機構 HP(<https://www.iyeo.or.jp/>)をご覧ください。



※事業内容、実施時期、応募方法等は変更となる場合があります。最新の情報は内閣府ホームページにてご確認ください。

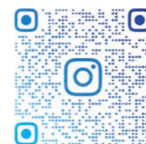
挑め、未来のリーダー

次の舞台は海を超え世界へ。あなたのチカラが躍動する。

問い合わせ先

内閣府青年国際交流担当室
電話:03-5253-2111(大代表)

詳細は▶



CAO_KORYU

内閣府青年国際交流事業



その一歩が 新たな世界をひらく。

内閣府では、国際社会や地域社会で活躍する次世代グローバルリーダーの育成を目指して、5つの国際交流事業を実施しています。



「東南アジア青年の船」事業

日本及びASEAN各国の青年が、船内で共同生活を行いつつ、ASEAN各国に寄港し、ディスカッションや文化交流、表敬訪問等の活動を行います。各国から選び抜かれた青年との切磋琢磨の中で、国際社会をけん引する人材を育成します。



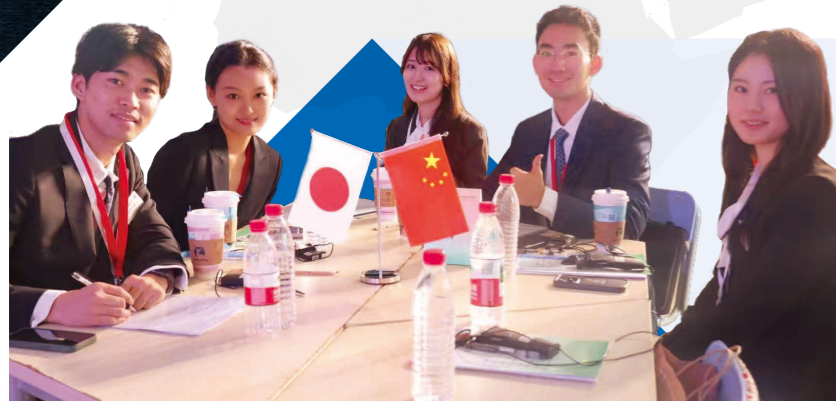
「世界青年の船」事業

日本及び世界各国の青年が、船内及び寄港地で共同生活を行いつつ、ディスカッションや文化交流、施設訪問等の各種活動を行います。言語、宗教、文化など、多様なバックグラウンドを持つ青年との交流の中で、国際社会をけん引する人材を育成します。



国際社会青年育成事業

世界各国が抱える社会課題をテーマに設定し、テーマに関する特徴的な取組を進める国との間で青年の派遣・招へいを行います。テーマに基づくディスカッションや施設訪問等の活動を通して、国際社会や地域社会の課題解決に貢献できる人材の育成を図ります。



日本・中国青年親善交流事業

日本及び中国青年が相互に相手国を訪問し、ディスカッションや文化交流等の活動を行うことで、次世代グローバルリーダーに必要な能力の向上と両国青年の相互理解・友好の促進を図ります。



日本・韓国青年親善交流事業

日本及び韓国青年が相互に相手国を訪問し、ディスカッションや文化交流等の活動を行うことで、次世代グローバルリーダーに必要な能力の向上と両国青年の相互理解・友好の促進を図ります。



こんなあなたにおすすめ

- 将来、国際貢献・地域貢献に取り組みたい
- グローバルな視野を獲得したい
- 実践的なコミュニケーション力、プレゼンテーション力、課題解決力を高めたい
- 国際交流にチャレンジしたい
- 国内外のネットワークを広げたい

Life-Changing Experience